

バスなど公共交通への 自動運転サービスの 導入に向けたガイドライン

Ver. 1.0



東京都

令和6年3月



「バスなど公共交通への自動運転サービスの導入に向けたガイドライン」 の策定に当たって

自動運転技術は、高齢者をはじめとする移動制約者が増加する中、深刻化する運転手不足への対応など社会的課題を解決できる可能性を有しており、公共交通に自動運転を生かしていくことが重要となります。

一方、区市町村などを対象に実施したアンケートにより、自動運転の導入に必要な法的手続の明確化などの課題が明らかになったため、自動運転サービスの導入に向け、必要な手順や、安全に自動運転車を走行させるために必要な環境整備の内容などについて、検討してまいりました。

こうした検討を踏まえて、区市町村や交通事業者が自動運転サービスを導入する際、参考にできるよう、今般、導入手順や安全対策等を示す「バスなど公共交通への自動運転サービスの導入に向けたガイドライン」を取りまとめました。

本ガイドラインの取りまとめに当たっては、庁内関係部署の方をはじめ多くの方々にご協力いただきました。なお、今後も国内の事例等を踏まえて、本ガイドラインは適宜、更新してまいります。

令和6年3月
東京都都市整備局

<目次>

第1章	はじめに	5
1.1	ガイドライン策定の背景と東京都の取組	5
1.1.1.	背景	5
1.1.2.	東京都における自動運転サービスの導入推進に向けた取組	6
1.2	ガイドラインの位置付け	7
1.2.1.	ガイドラインの目的	7
1.2.2.	想定するガイドラインの利用者	7
1.3	自動運転の概要	8
1.3.1.	自動運転技術の概要	8
1.3.2.	自動運転サービスに関する法制度の整備の動向	12
1.3.3.	国内の自動運転サービスの導入に向けた取組	14
第2章	自動運転サービスの導入手順	15
2.1	自動運転サービスの導入手順	15
2.2	自動運転サービスの導入計画	16
第3章	各ステップの具体的な取組内容	18
3.1	企画立案ステップ	18
3.1.1.	企画立案ステップの概要	18
3.1.2.	導入対象地域の課題整理	19
3.1.3.	自動運転サービス内容の検討	21
3.1.4.	自動運転サービス実施体制等の検討	23
3.1.5.	需要予測・採算性の検討	25
3.1.6.	社会受容性向上策の検討	26
3.2	実証実験ステップ	29
3.2.1.	実証実験ステップの概要	29
3.2.2.	実証実験の検証内容・方法の検討	30
3.2.3.	実証実験の実施・分析	32
3.2.4.	分析結果の検証と導入計画の見直し	46
3.3	レベル2実証運行ステップ	49
3.3.1.	レベル2実証運行ステップの概要	49
3.3.2.	レベル2実証運行の準備	50
3.3.3.	手動介入低減策の実施及び効果検証	53
3.3.4.	検証結果を踏まえた手動介入低減策の改善	61
3.3.3.	(詳細) 手動介入低減策の実施	62
3.4	レベル4実証運行ステップ	99
3.4.1.	レベル4実証運行ステップの概要	99

3.4.2.	レベル4本格運行を実施するための課題と対応策の検討	100
3.4.3.	レベル4本格運行時の運行体制の構築	102
3.4.4.	道路運送車両法上の手続（走行環境条件の付与申請）	105
3.4.5.	道路交通法上の手続（特定自動運行の許可申請）	108
■	関係機関への許認可申請等の窓口一覧	110
参考1	事業採算性の試算	111
参考2	国の補助事業の紹介・収支改善方策	118
参考3	実証実験ステップまでの検討例	132
参考3-1	実証実験ステップまでの検討例	133
参考3-1-1	中枢広域拠点域での導入を想定した検討例	133
参考3-1-2	自然環境共生域での導入を想定した検討例	164
参考3-2	企画立案ステップまでの検討例	197
参考3-2-1	新都市生活創造域での導入を想定した検討例	197
参考3-2-2	多摩広域拠点域での導入を想定した検討例	205
参考4	用語の解説	212
参考5	検討会委員名簿	215